

10班

トマト

都農ではトマト栽培も盛んだ。ここのトマトは真っ赤でつやつやだ。おいしさのヒミツは、清冽な水とされていて中川原橋に流れている川の水がとでもきれいだったことから分かる。都農町は、西に尾鈴山、東に日向灘を臨む自然ゆたかな場所で、南国の太陽を浴びて生まれる都農町のトマトは、フルーツのように糖度が高く、オレンジや黄、紫など色とりどりの品種も数多く栽培されています。さらに日向灘が育むミネラルを含んだ風は、尾鈴山にぶつかって大地に注ぎ、トマト作りには最適な環境を作り出している。そのため、昔からトマト栽培が盛んにおこなわれていた。しかし、都農町のトマトが注目され始めたのは最近のことで、きっかけはフルーツトマトであった。

ソーラーパネル

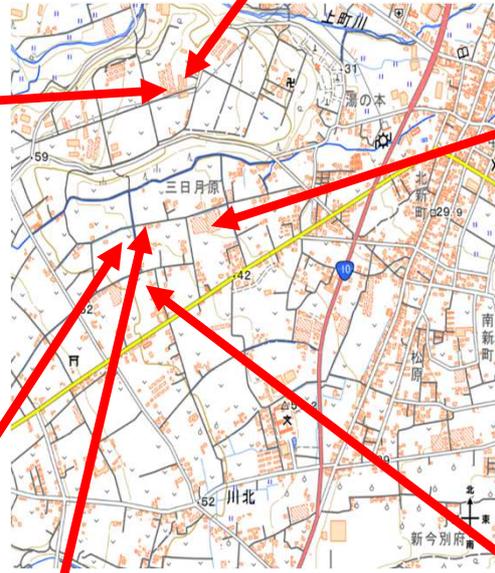
牛舎

都農町では、家畜を飼養する経営体数96経営体中74経営体が肉用牛であり、ここでも肉用牛が飼育されていた。肉用牛は都農町ふるさと納税の返礼品の中でも人気を集めているようだ。



キャベツ

都農町のキャベツについては昨今の青果需要の減少に対して、加工用キャベツの栽培が増え、2年前からは収穫後のキャベツが300kg超える鉄製コンテナによる契約出荷が始まり、現在ではキャベツ生産全体の8割が加工用として出荷されている。春～初夏どりの作型は10月20日以降の秋まきで翌春4月中旬～5月20日収穫と、1月下旬以降播種で5月20日～6月20日収穫となっていて、短い播種期間の中で複数の品種を栽培し、キャベツの品種特性による収穫時期のずれを利用して、4～6月まで連続出荷できるよう計画を立てている。そのため自分たちが見た5月下旬のキャベツは収穫目前の大きなものだった。



ぶどう

都農町でのブドウ造りが始まったのは、戦後まもない1953年。雨が多いため果樹栽培は不可能と言われていた宮崎県で、一人の農民が、稲作に頼らない豊かな農業経営を理想とし、お米に変わる作物としてブドウを植えた。当時植えられた食用ブドウのキャンベル・アーリーは見事栽培に成功し、現在まで長く栽培されているようだ。その後の1988年、町おこしのために町営のワイナリーを作りたいという計画がスタート。大手飲料メーカーでワイン醸造に携わり、ブラジルのワイン工場の支配人を務めた経歴を持つ、現代表取締役社長の小畑暁氏と、国内外で修業した宮崎を代表するワインメーカーの1人、赤尾誠二氏により、念願のワイナリーが1996年にオープンした。「ワインは地酒であるべきだ」という信念のもと、地元産ブドウを100%使用しているようだ。私たちがビニールハウスを見つけた時に、ぶどうを栽培していると分かるほど都農ではぶどう栽培が盛んだと言える。青いネットは他のビニールハウスでは見られずぶどう栽培の特徴と考えられる。



茶

ここでは茶畑と共に防霜ファンが見られた。防霜ファンは扇風機みたいな見た目をしていて、上空の温かい空気を循環させるもので、新茶作りには欠かせない。私達が見た際は二番茶の摘採(品質を高める作業)をしていたようだった。



コメント

私たちが探索した地区は家が少なく、付近にはコンビニや飲食店、自動販売機などもなかったが、その代わりに茶畑や水田、キャベツやトウモロコシなどの野菜を栽培している土地など、のどかな自然が広がっており、このような自然をこれからも維持していくべきだと感じた。探索した地区内では中川原橋の下を川が流れており、もっと詳しく調べれば井戸の跡がありそうだったと思った。都農町では道の駅や神社の他にも多くの自然に触れることができる場所があるので、訪れた際にはぜひ堪能してほしい。

課題点：都農町を探索していく中で農家の方々が機械を使って作物を栽培しているのをよく見かけたが、そのほとんどが高齢の方で、若者はあまり見られなかった。今後高齢化がよりいっそう進んでいく中でどのように後継者を生み出すべきなのか、ドローンなどのような機械の導入をするべきかなど様々な課題があると感じた。子育て世代の定住に繋げるためには、街灯の整備や車を頼りにしない交通体系が必要だと考えられる。

参考文献：[百年の誠実。都農町 | つのを知る \(life-tsuno.jp\)](https://www.kyounoryouri.jp/contents/feature/kiseki_tsuno_tomato)
https://www.kyounoryouri.jp/contents/feature/kiseki_tsuno_tomato、
<https://tsunowine.com/harvestfes/harvestfes2020/2020/10/20/%E5%B0%BE%E9%88%B4%E3%81%B6%E3%81%A9%E3%81%86%E3%81%AE%E6%AD%B4%E5%8F%B2/>